

事務局から

編集後記

▼民主教育研究所発行、季刊「人間と教育」の編集委員、野々垣務さんから、掲載中の「ある教師の戦後史」の取材依頼を受け、長年教育実践と民主教育運動の先頭に立たれた吉田三男さんを推薦しました。その結果は「人間と教育」秋季67号（10年9月刊）をご覧ください。

▼三条市議会有志の議員から、先号の特集「小中一貫教育」について、講師の依頼を受け学習会を持ちました。三条市ではいま、湯沢町とならんで、この制度の導入をすすめています。初めての試みで、子どもの発達成長にとってどうなのか、改めてこの問題に詳しい佐貫浩さん（法政大）を講師に、10月10日（日）に学習会を開催することになりました（会場：三条総合福祉会館）

▼本誌次号104号は、特集の一つに「佐渡の地域づくりと教育」（仮称）を予定しております。これまでの調査研究結果をまとめたいと思います。

（内山）

▼この夏の猛暑には閉口しました。ただひたすらに水を飲み、汗を流しました。皆さんいかがでしたか。お見舞い申し上げます。これも地球温暖化による異常気象だとすれば、肌寒いものを感じます。

▼今回の特集は平和教育を取り上げました。戦争の加害と被害の体験を自ら語ることに出来る世代の方が、次第に失われつつあります。私たちの世代は直接体験した方々の体験を、次の若い世代に語り継ぎ伝える義務があります。

日本による韓国併合百年目の節目の今年、期せずして日韓問題を平和学習の教材にとりあげた実践報告を2本いただきました。

▼横浜の津田さんからは単身、沖縄県座間味島まで出かけて「集団自決」の証言を取材して、子どもたちに伝えた報告をいただきました。

重い事実を子どもたちにどう伝えるか、試

行錯誤の末、結局、感情移入を避け、事実のみ語らせる取り組みは貴重です。いまも不遜にも歴史的事実を玩ぶ者たちが後を絶ちませんが、証言を読んで事実に対すると襟を正します。

（大滝）

いがたの教育情報 No. 103

2010年9月30日発行

編集・発行 いがた県民教育研究所

発行人 小林 昭 三

〒951-8116

新潟市中央区東中通1-86 山崎ビル

電話・FAX (025)228-2924

振替口座・00640-0-12332

Eメール kyoiku@triton.ocn.ne.jp

印刷所・神林印刷

TEL 0254-66-7959

本誌内容の無断転載を禁じます。